

令和元年度「呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修」実施要領

独立行政法人環境再生保全機構

1. 趣旨

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の主な症状は咳、痰と呼吸困難であり、薬物治療は症状改善に有用であるが、呼吸困難やそれに伴う日常生活動作の低下に対しては呼吸リハビリテーションを行うことで更なる症状の改善を期待することができる。

このため、独立行政法人環境再生保全機構は、公害健康被害予防事業対象地域において呼吸リハビリテーションを専門とする理学療法士等の能力を向上させ、呼吸リハビリテーションの普及を図ることを目的として標記研修を開催する。

2. 主催等

主 催:独立行政法人環境再生保全機構

後 援:一般社団法人日本呼吸器学会(予定)

一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

3. 研修期間及び場所

日 時: 令和元年 10 月 31 日(木)～11 月 1 日(金)

場 所: 新梅田研修センター(大阪府大阪市福島区福島 6-22-20)

4. 研修対象者

次の①及び②の条件に該当する者とする。

① 次のア、イのいずれかに該当する者

ア. 公害健康被害予防事業対象地域内(別添1)に所在する医療機関等(訪問看護ステーション、介護施設を含む。)において、一般社団法人日本呼吸器学会認定の呼吸器専門医及び呼吸器指導医の下で COPD 患者への呼吸リハビリテーションに取り組んでいる者(予定の者を含む。)

イ. 公害健康被害予防事業対象地域の都府県内において、公害健康被害予防事業に参画・協力している医療機関、又は呼吸リハビリテーションを実践している医療機関等に勤務しており、一般社団法人日本呼吸器学会認定の呼吸器専門医及び呼吸器指導医の下で COPD 患者への呼吸リハビリテーションに取り組んでいる者(予定の者を含む。)

② 研修期間中の全日程について出席できる者

5. 研修定員

100名

注 定員を超える応募があった場合は、過去に本研修の受講経験がない者を優先し、また、より多くの医療機関からの参加となるように、所属の医療機関に偏りがないように調整した上で、抽選により研修生を決定する。

6. 研修の申込方法及び決定等

- 1) 研修申込書(別添様式)を用いて、郵送にて研修運営事務局宛に申し込むこと。**(令和元年8月30日(金)必着)**
- 2) 研修参加の可否の決定は機構が行い、申込書に記載された送付先へ通知する。

7. 研修内容

(別添2)カリキュラム参照

8. 研修生の帰任

次の場合、研修推薦者と協議のうえ、研修生を帰任させることがある。

- 1) 疾病等により、研修の受講が不可能と認められる場合
- 2) 研修生の資質に研修運営上支障があると認められる場合

9. 受講報告書の提出

研修終了後に研修受講報告書(研修当日提示)を必ず提出すること。

10. 修了証の発行

研修の全講義を受講した者に対して、当該研修の修了証を発行する。

11. 研修生の参加費用

受講料は無料。但し、会場までの旅費は受講者の負担となります。

12. 研修生は、次の事項に努めることとする。

- 1) 意欲をもって講義に集中すること。また、必要に応じて課題について予習すること。
- 2) 本研修を受講することにより、参加者自身のスキル向上だけでなく、地域や医療機関での呼吸リハビリテーションの普及等に努めること。また、公害健康被害予防事業の効果的、効率的な推進に努めること。

13. その他

- 1) 研修期間中の宿泊先の確保は、原則として研修生各人が行うこと。
- 2) 研修期間中の健康管理は、研修生本人が注意すること。
- 3) 研修修了者は、機構が別途設置する「予防事業人材バンク」に登録することができます。登録すると、地方公共団体が行う「呼吸リハビリテーション教室」等の講師、補助スタッフや、機構が新たに実施する「パッケージ支援事業」に協力していただくことがあります。
- 4) 本研修の受講者は、一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会の認定資格「呼吸ケア指導士」の認定更新等に必要な単位を取得できる。

本研修で取得できる単位数は全日程参加で計22.5単位(1日目7.5単位、2日目15単位)。
資格の詳細は、一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会のホームページ等を参照すること。

【問合せ・受講申込先】

令和元年度度研修運営事務局(株式会社プロセスユニーク)

担当:宮本

〒462-0861 名古屋市北区辻本通 1-11 株式会社 プロセスユニーク

TEL:052-919-7883 E-mail: ercakensyuu2019@p-unique.co.jp

【機構担当者】

独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部事業課

担当:寺田・継岡

〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー8F

TEL:044-520-9570 E-mail: s-terada@erca.go.jp、s-tsugioka@erca.go.jp

別添1:公害健康被害予防事業対象地域

| 都府県 | 公害健康被害予防事業対象地域名 |
|------|-----------------|
| 千葉県 | 千葉市 |
| 東京都 | 特別区23区 |
| 神奈川県 | 横浜市 |
| | 川崎市 |
| 静岡県 | 富士市 |
| 愛知県 | 名古屋市 |
| | 東海市 |
| 三重県 | 四日市市 |
| 大阪府 | 大阪市 |
| | 堺市 |
| | 豊中市 |
| | 吹田市 |
| | 守口市 |
| | 八尾市 |
| | 東大阪市 |
| 兵庫県 | 神戸市 |
| | 尼崎市 |
| | 西宮市 |
| | 芦屋市 |
| 岡山県 | 倉敷市 |
| | 玉野市 |
| | 備前市 |
| 福岡県 | 北九州市 |
| | 大牟田市 |
| 計 | 46地域 |

令和元年度 呼吸ケア・リハビリテーションスタッフ養成研修 カリキュラム

日程 令和元年10月31日(木)～11月1日(金)
場所 新梅田研修センター(〒553-0003 大阪府大阪市福島6-22-20)
対象者 公営健康被害予防事業対象地域の医療機関や地方公共団体等に勤務する理学療法士、看護師、保健師、栄養士等のコメディカルスタッフ

| 月日 | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 14:30 | 14:40 | 15:40 | 15:50 | 16:50 |
|-----------|-------|-------|--|--|-------|---|-------|--|
| 10月31日(木) | | 受付 | 予防事業の概要と目的 13:00～13:10 (10分) 環境再生 保全機構 予防事業部 事業課 | COPDの病態について 13:10～14:30 (80分) 公立学校共済組合関東中央病院 臨床検査科・病理科 部長 岡 輝明 先生 | 休憩 | 呼吸リハビリテーション総論 14:40～15:40 (60分) 兵庫医療大学大学院 医療科学研究科 研究科長・教授 玉木 彰 先生 | 休憩 | COPD患者における セルフマネジメント教育の 基礎と実際 15:50～16:50 (60分) 関東学院大学 看護学部 准教授 若林 律子 先生 |

| 月日 | 9:00 | 10:00 | 10:10 | 11:10 | 11:20 | 12:00 | 13:00 | 15:00 | 15:10 | 16:10 | 16:20 | 16:40 |
|----------|---|-------|--|-------|--|-------------|---|-------|--|-------|--|---|
| 11月1日(金) | 呼吸リハビリテーション コンディショニング/ 運動療法 9:00～10:00 (60分) 公益財団法人結核予防会 複十字病院 呼吸ケアリハビリセンター 部長 千住 秀明 先生 | 休憩 | 呼吸リハビリテーション/ ADLTトレーニング 10:10～11:10 (60分) 長崎呼吸器 リハビリクリニック 北川 知佳 先生 | 休憩 | 呼吸リハビリテーション/ 栄養指導 11:20～12:00 (40分) 公益財団法人結核予防会 複十字病院 栄養科 科長 川崎 由香理 先生 | 昼 休 み | 身体所見の取り方と 呼吸リハビリテーション基本手技【実技】 13:00～15:00 (120分) 公益財団法人結核予防会 複十字病院 呼吸ケアリハビリセンター 部長 千住 秀明 先生 長崎呼吸器リハビリクリニック 北川 知佳 先生 兵庫医療大学大学院 医療科学研究科 研究科長・教授 玉木 彰 先生 他、補助講師8名程度 | 休憩 | 在宅酸素療法 15:10～16:10 (60分) 日本赤十字社 前橋赤十字病院 呼吸器内科 副部長 堀江 健夫 先生 | 休憩 | ～事例紹介～ 16:20～16:40 (20分) 日本赤十字社 前橋赤十字病院 呼吸器内科 副部長 堀江 健夫 先生 | 閉 講 (受 講 報 告 書 回 収) |